



# 城南中だより

学校教育目標

希望と愛をはぐくむ  
美と活力の学校

11月号 令和7年10月31日発行 第8号

〒339-0034 さいたま市岩槻区笹久保577 <http://jounan-j.saitama-city.ed.jp/>  
TEL 048-798-0007 さわやか相談室直通 048-797-0514

## ボランティアの奨励

校長 吉原誠士

11月1日に新和小学校で開催される「秋のお楽しみ会」には30名を超える本校中学生ボランティアが参加します。10月15日の朝礼で、育成会（正式には「青少年育成埼玉市民会議岩槻区新和地区会」という）の尾嶋様と末廣様が呼びかけたところ、全校生徒の約六分の一、言い換えると一クラスにあたる人数の生徒が応じたのです。実に気持ちよい子どもたちです。もちろん無償です。やる気にあふれていて前向きに取り組もうとする姿勢を評価する「心意気を壯とする」は、正にこのような場合に使う言葉なのでしょう。

コロナ禍によりその後の糸余曲折はあったものの、2020年に予定されていた「東京オリンピック」にはボランティア応募者が20万人を突破して予定枠が埋まったと報道されていました。また、1995年に関西圏で発生した地震の際には、現地入りの手段に混乱はありながらも活躍が報じられました。2011年の大震災では多数の有志の人たちが現地に赴いています。私の友人も「ボランティア休暇」を取り、対応・支援にあたっていました。イベントや災害だけでなく、山中での行方不明者捜索にあたった「スーパーボランティア」のこととも思い出されます。

「城南中学校生のよさは何ですか」と問われたら、「<sup>むし</sup>私の活動を快く引き受けられる」上記の子どもたちを例に挙げることになるでしょう。これはテストだけでは数値化が不可能な「<sup>ひにんちのうりょく</sup>非認知能力」の一つであり、自分だけでなく他人の幸せをも願う「ウェルビーイング」に通ずるスキルでもあります。そこには体力だけでなく、相手の気持ちを察する優れた気遣いや、行く先々で求めに応じて動こうとする高い精神性が求められます。私自身は・・この原稿を書きながら、全く唐突に、大学生時代の福祉系ボランティアに参加した記憶がよみがえりました。お金を稼ぐためにアルバイトに精を出すことだけを考えていたのではないかと心配しましたが、少し安心できました。

「地域とつながる」という観点でもこのたび提供された場はありがたいものでした。本校にはこれまで新和・和土両小学校の運動会でお手伝いに加わる伝統もあります。広く「<sup>ひと</sup>他人とつながる」機会としては宇宙科学館や公民館・図書館等での募集に応じる者も毎年います。生徒の高い<sup>こころざし</sup>志に応えるために、これからも地域でボランティア活動の場を提供いただけるとよいのではないかと思います。「地元での奉仕活動に参加しています」「城南中学校区スーパーボランティアを自称しています」との自信をもって自己PRする頼もしい姿が楽しみです。安全確保等配慮することはたくさんありますが、学校、家庭、地域ぐるみで、社会を明るくする人材を育成したいと考えます。

**ボランティアも「花笑み教育」充実の一環！ 一緒に頑張りましょう！**